

News Release



平成24年3月14日

各報道機関文教担当記者 殿

第3回能登総合シンポジウム

能登の持つ教育研究的価値の大きさや将来性を示す

能登は教育研究の場として様々な価値を持っている場所です。その教育研究的価値は、今後の社会を作っていくために求められている様々な知恵や行為に結びつくものです。すでに、能登半島の珠洲では「学術面から環日本海域の環境ガバナンスの確立を目指す試み（通称「能登スーパーサイト構想」）や人口減少や過疎化を抱えた地域の再生・活性を確実なものにするための対策を作り出す活動（通称「里山里海再生学」）」が始まっています。これらの活動は、能登の持つ教育研究的価値の大きさや将来性を我々に示してくれているものと考えています。

今回のシンポジウムでは、この一年の教育研究活動の成果を発表するとともに、能登における今後の研究教育活動の更なる発展を期すための様々な分野の将来計画と実現に向けた作業案などを作成します。

第3回能登総合シンポジウム

-フィールド研究を総合化し、将来計画とその実現の場-

日時 3月16日(金) 13:00~18:00 , 17日(土) 09:30~16:10

場所 珠洲商工会議所2Fホール（珠洲市飯田町） TEL0768-82-1115

プログラム

3月16日(金)

第1セッション：大気科学パート1 能登で見た大気（その1）：偏西風と日本海の影響

第2セッション：半島科学 半島環境学の創成

3月17日(土)

第3セッション：大気科学パート2 水循環と大気質・環境科学・再生可能エネルギー

第4セッション：生態学 GIHAIS「能登の里山里海」と生物多様性：いま何をすべきか
《サイエンスカフェ：「その後の黄砂研究」会場：ラポルトすず内「E'café」商工会議所そば》

詳細

http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_kyoryoku/notoshinpo/notoshinpo.htm

つきましては、事前報道及び当日の取材について、よろしくお願いいたします。

【本件照会先】

金沢大学第3回能登総合シンポジウム事務局

TEL: 076-234-4645

【担当】

金沢大学広報戦略室 松本

TEL: 076-264-5024

第3回能登総合シンポジウム

3rd Symposium of Integrated Studies on NOTO Peninsula

～フィールド研究を総合化し、将来計画とその実現の場に～

能登は教育研究の場として様々な価値を持っている場所です。その教育研究的価値は、今後の社会を作っていくために求められている様々な知恵や行為に結びつくものです。すでに、能登半島の珠洲では「学術面から環日本海域の環境ガバナンスの確立を目指す試み(通称「能登スーパーサイト構想」)や人口減少や過疎化を抱えた地域の再生・活性を確実なものにするための対策を作り出す活動(通称「里山里海再生学」)」が始まっています。これらの活動は、能登の持つ教育研究的価値の大きさや将来性を我々に示してくれているものと考えています。今回のシンポジウムは、昨年1月に開催されたシンポジウムを受け継ぎ、この一年の教育研究活動の成果を発表するとともに、能登における今後の研究教育活動の更なる発展を期すための様々な分野の将来計画と実現に向けた作業案などを作る場であります。また、これらのことが、未曾有の困難に見舞われている日本の現状を未来有るものにする手がかりにつながるように努める場でもあります。みなさまの参加を期待します

日時：2012年3月16日(金)、17日(土)

場所：珠洲商工会議所2Fホール(珠洲市飯田町 TEL:0768-82-1115)

【往路バス】16日10:00 JR金沢駅西口発 ⇒ 12:00 能登空港発 ⇒ 12:40 珠洲商工会議所着

【復路バス】17日16:20 珠洲商工会議所発 ⇒ 19:00 JR金沢駅西口着

3月16日13:00-15:30 開会挨拶:岩坂泰信教授(金沢大学)

来賓挨拶:泉谷満寿裕市長(珠洲市)

第1セッション 大気科学 パート1 司会:松木篤、洪天祥(金沢大学)

能登で見た大気(その1): 偏西風と日本海の影響

・「セッションの狙いそして今後の大気観測研究」

岩坂泰信(金沢大学)

・「能登半島上空に風送される大気バイオエアロゾル～西からの旅人と北からの旅人～」

牧 輝弥(金沢大)

・「非培養法で同定した能登上空に浮遊する微生物, 2008～2010春季」

柿川真紀子(金沢大学)

・「能登スーパーサイトの技術が南極観測に新たなページを」

小林史尚(金沢大学)

・「最近10年の日中韓露のPAH、NPAH大気汚染の変化」

早川和一(金沢大学)

・「北陸地方の大気水圏環境中におけるアルデヒド類の動態」

渡辺幸一(富山県立大学)

・「雷・雲活動研究から見た北陸」

中城智之(福井工業大)

コメント:X. Tang, M. Hu, Y. Wei(北京大学、中国科学院院士)



金沢 Kanazawa City



3月16日15:45-18:00

第2セッション 半島科学 司会:長尾誠也(金沢大学)

半島環境学の創成

・「セッションの狙いと意義」長尾誠也(金沢大学)

・「津軽半島の特長と抱える課題」永井雄人(白神自然学校)

・「渥美半島の繁栄そしてこれから」

児玉剛則(社団法人環境創造研究センター)

・「能登半島の特長」中村浩二(金沢大学)

・「半島科学研究プロジェクト」長尾誠也(金沢大学)

意見交換:「今後の研究の進め方と連携」をテーマに

交流会 3月16日 18:30-20:00

会場:カフェ・ド・ランプ(珠洲商工会議所近く)

参加費:1人4000円

※終了後、珠洲ビーチホテルの迎えバス

また、翌日17日は珠洲ビーチホテルから8:30にバス出発

併催行事

第2回 能登サイエンスカフェ

3月17日 14:30～16:00
会場:ラポルトすず「E カフェ」
(珠洲商工会議所横)

テーマ:「その後の黄砂研究」
お話し:小林史尚さん

「能登発南極着わくわくバイオエアロゾル研究」
牧 輝弥さん

「ほんまの地産地消タイプ納豆」
森野昌典さん

参加費:無料 各々飲み物を注文ください
※詳細の奥は深い!

第3回 能登の里山里海 写真展

3月16日、17日 終日
会場:珠洲商工会議所2Fロビー
※写真家・足袋拔豪氏による
能登の空、里海のアンブル

【参加希望・宿泊・問い合わせ】連絡先 TEL:076-234-4645

第3回能登総合シンポジウム事務局 松木 篤 matsuki@staff.kanazawa-u.ac.jp 木下礼以子 ram@staff.kanazawa-u.ac.jp

